



# 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番

93.3.24 No. 3763

## 貨物への格差拡大を許すな

### 3.25-4.1外 に向けて

現在、最も顕著な形で「分割・民営化」の矛盾が、貨物会社において表面化している。

それはこの間明らかになってきた通り、①自前のレールを持たない鉄道会社であること、②六分割された旅客会社のスジの間を縫って、ダイヤ調整をしなければ列車設定が不可能となっていること、③独自の列車指令・養成機関さえ持たないこと、④「貨物安楽死」論により、老朽車両を引き継いだ弊害、事故の多発、台車交換費用の拠出、等々である。

自前のレールを持たないがゆえに、貨物会社は旅客会社に対し、「レール使用料」を支払っているが、その総収入に占める割合は、九二年度において約一割にも達している。(別表1参照、レール使用料はこの九二年度半ばに値上げされ、九三年度には二四〇億円にもものぼることになる)

貨物会社における総収入に対するレール使用料の対比

年度	総収入額	レール使用料	割合
1990年度	2,049.7億円	160億円	≒7.8%
1991年度	2,152.0億円	160~170億円	≒7.6%
1992年度	2,100.0億円	200億円	≒9.5%
1993年度	93年度決算前のため不明	240億円	

さらに旅客会社の無謀なスピードアップが貨物にも強要され、信号や地上子の位置まで変更を余儀なくされるなど、貨物列車そのものに適合し

貨物会社の年度別経常利益

88年度	89年度	90年度	91年度	92年度	合計
59.44億円	66.31億円	64.58億円	74.97億円	19.92億円	285.22億円

JR各社の定昇・ベア比較表

会社名	88年度	89年度	90年度	91年度	92年度
JR北海道	4.10%	4.96%	5.75%	5.36%	4.65%
JR東日本	4.20%	5.06%	5.97%	5.92%	5.57%
JR東海	4.20%	5.06%	5.97%	5.92%	5.62%
JR西日本	4.20%	5.06%	5.97%	5.92%	5.57%
JR四国	4.10%	4.96%	5.83%	5.54%	5.20%
JR九州	4.10%	4.96%	5.83%	5.49%	5.00%
JR貨物	4.10%	4.96%	5.85%	5.64%	4.65%

## 情勢

93春闘

### 資本の反動的攻勢を許す

### 連合の総反撃を！

### ストライキまで反撃する

九三春闘をめぐる情勢は、「戦後最悪の長期不況」と言われる状況の中で、全面的な資本攻勢「ベア・ゼロ」攻撃、大量人員整理計画・レイオフ、工場閉鎖計画の発表、「雇用調整」の名の下、事実上の指名解雇攻撃にまで行きついている。

まさに低賃金の強制と、「終身雇用制度」なども「終身雇用」の意向が色濃く出ているのだ。実際に、鉄鋼・自動車などの金属労協(IMF・JC)の春闘労使交渉は、二二日まで鉄鋼二・六五%、電機三・六%、造船重機四・二七%(自動車大手は三・八%台で最終調整中)で決着と、全体相場が六年ぶりの四割割れの低水準となること確実となっている。

「好景気」時には世界最低の労働分配率を強制し、バブル崩壊一円高「不況」の今次は、賃金抑制と首切りにより、一切の犠牲を労働者に転嫁する攻撃を断じて許すことなどできない。

率先して資本の論理に立ち、合理化・労働強化・首切りの推進勢力「連合」の一切の闘争放棄こそ、全労働者の生活と労働条件を売り渡すものなのだ。

九三春闘を、真に労働者のものとするためにも、大幅賃上げ獲得一格差拡大粉砕のストライキを展開しよう！

反戦・反核を担う労働運動を！ 確立・保安・運輸・反